

令和5年度 新羽地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

市営地下鉄の駅がエリア内に2つあります。住宅と工場が混在し、地区西側の丘は市街化調整区域になっています。地区の東と南は鶴見川に面しており、豪雨の場合の防災についても関心が高い地区です。南端に高速横浜環状北線のインターができてから、車両交通量の増大がみられ、新しいマンションが建設されたり、コンビニエンスストアが増えてきました。

新羽・北新横浜エリアの高齢化率に大きな変化はありませんが、新しいマンションが建つエリアとそうでないエリアでは高齢化率に差が見られます。要支援悪化率の増加や、認知症高齢者率は少しずつ上がっています。認知症になってもこれまでどおりの暮らしができるような地域であるよう、住民の皆さんと一緒に考えていきます。

連合の子ども会が解散して数年が経過しましたが、今年度は新しい形の子ども会が提案され、その始動に期待が持たれます。

第4期地区福祉保健計画(和・輪・話のまち にっば)は軌道に乗りつつあります。コロナ禍であまり見られなくなっていた子ども達の集う場を開催したり、地域の魅力発見と健康づくりを兼ねたイベントも企画されました。それらの情報発信を担うホームページも完成間近です。誰もが気軽に参加できる活動が増えることに期待を寄せサポートしていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	出張講座や町内会のイベントなどの機会を利用して、地域の方と顔をつなぐとともに、高齢者の健康づくりや社会参加の必要性を伝えていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアプラザの事業に参加していただく機会や医療面での相談を通して、協力医との連携を進める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症高齢者が地域で生活する上で抱える問題を、近隣住民や専門職らと地域ケア会議で話し合い共有化する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	お互いの理解や顔の見える関係になれるよう年齢・性別・障害の有無に関係なく交流できる場を作る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不登校児び居場所や保護者が悩みを相談できる場を作る。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和5年度新羽地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご相談の際にはリストを提示したり、複数箇所の特徴をご説明したりしながら、公正なご案内ができるようつとめていきます。 ・館内のご利用が戻りつつあります。新たな団体にも利用しやすいものとなるよう、公平なご利用案内やロッカー保管場所などの抽選を継続していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員研修で防災、緊急時対応、設備説明、救急対応などを行い、未然に防ぐための対応力も高めます。 ・全職員研修で個人情報保護についても毎年行い、意識を高めるとともに普段の業務の見直しをしています。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>1利用者との信頼関係を築きながらアセスメントを行い、安心してサービスを利用し介護予防に取り組めるように各々の目標に向けて実践、評価し、支援してまいります。</p> <p>2.困難ケースは地域や区・他事業所と連携しより良いケアマネジメントができるように努めていきます。</p>	<p>1.住み慣れた地域でその人らしく生活が営むことを目標とし、ご利用者の意思を尊重し、心身や置かれている環境状況等に応じた居宅サービス計画の作成に努めます。</p> <p>2.サービス提供にあたっては、サービス種類や事業所に偏ることなくまた、介護保険サービスのみならず地域のインフォーマルサービスをご自身で選択できるように支援いたします。</p> <p>3.外部研修により最新の情報を収集し、福祉拠点のケアプラザとしての責務をはたしていきます。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】</p> <p>指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】</p> <p>指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p>
	<p>【その他料金】</p>	<p>【その他料金】</p>
職員体制	社会福祉職1名、保健師1名、(常勤2名)	介護支援専門員 管理者(常勤兼務) 1名 常勤(専任) 1名 非常勤 1名
契約者数		

令和5年度「新羽地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,534,689		17,534,689		17,534,689	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	10,000		10,000		10,000	ここ・カラセミナー参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	17,544,689	0	17,544,689	0	17,544,689	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,504,597	0	10,504,597	0	10,504,597	
本俸	6,788,097		6,788,097		6,788,097	
社会保険料	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
手当計	2,345,000		2,345,000		2,345,000	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金	6,500		6,500		6,500	
退職給付引当金繰入額	85,000		85,000		85,000	
その他	250,000		250,000		250,000	
事務費	2,118,519	0	2,118,519	0	2,118,519	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	300,000		300,000		300,000	
会議開費	1,000		1,000		1,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	200,000		200,000		200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000		30,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	30,000		30,000		30,000	
リース料	350,000		350,000		350,000	
手数料	5,000		5,000		5,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	952,519		952,519		952,519	
事業費	255,704	0	255,704	0	255,704	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	213,704		213,704		213,704	
その他			0		0	
管理費	3,368,869	0	3,368,869	0	3,368,869	
光熱水費	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
清掃費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
機械警備費	220,000		220,000		220,000	
設備保全費	120,000	0	120,000	0	120,000	
空調衛生設備保守	120,000		120,000		120,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	28,869		28,869		28,869	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	823,000	0	823,000	0	823,000	
事業所税			0		0	
消費税	823,000		823,000		823,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
支出合計	17,544,689	0	17,544,689	0	17,544,689	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	10,000	0	10,000	0	10,000	
自主事業費 支出	213,704	0	213,704	0	213,704	
自主事業 収支	△ 203,704	0	△ 203,704	0	△ 203,704	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和5年度「新羽地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	16,898,834		16,898,834		16,898,834	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	
指定管理料【生活支援】	5,862,955		5,862,955		5,862,955	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	100,000		0		0	音楽でコニサイス、みなみくらぶ参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	23,015,789	0	23,015,789	0	23,015,789	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	18,577,326	0	18,577,326	0	18,577,326	
本俸	8,970,000		8,970,000		8,970,000	
社会保険料	2,650,000		2,650,000		2,650,000	
手当計	6,210,977		6,210,977		6,210,977	
健康診断費	20,000		20,000		20,000	
勤労者福祉共済掛金	20,000		20,000		20,000	
退職給付引当金繰入額	272,167		272,167		272,167	
その他	434,182		434,182		434,182	
事務費	2,067,593	0	2,067,593	0	2,067,593	
旅費	80,000		80,000		80,000	
消耗品費	350,000		350,000		350,000	
会議ठी費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	200,000		200,000		200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	50,000		50,000		50,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000		30,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料	304,000		304,000		304,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費			0		0	
その他	998,593		998,593		998,593	
事業費	1,351,778	0	1,351,778	0	1,351,778	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	152,778		152,778		152,778	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	415,000		415,000		415,000	
その他			0		0	
管理費	893,092	0	893,092	0	893,092	
光熱水費	513,092		513,092		513,092	
清掃費	300,000		300,000		300,000	
機械警備費	45,000		45,000		45,000	
設備保全費	35,000	0	35,000	0	35,000	
空調衛生設備保守	35,000		35,000		35,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000	0	126,000	0	126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	23,015,789	0	23,015,789	0	23,015,789	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業費 支出	721,778	0	721,778	0	721,778	
自主事業 収支	△ 621,778	0	△ 621,778	0	△ 621,778	

管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	たんぽぼにっば	H26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育てボランティアグループたんぽぼにっば主催で毎月第2・4火曜日、第3月曜日に開催している子育てサロン	3:養育者及び乳幼児	4	第2火曜日は工作や手遊び・読み聞かせ。 第4火曜日はフリースペースとして新羽地域ケアプラザ4F多目的ホール2にて開催。 第3月曜は北新羽町内会会館にて開催。		
2	ダイニング28	H28	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	「新羽の地域で子ども食堂を」という地域の一人の声から始まり、地域食堂を運営する団体が結成。地域食堂を多くの方に知ってもらい、地域の居場所づくりを進めていく。	5:地域		月1回、28(にっばの日)日に地域食堂を開催。地域の居場所として、多世代で集まり、ご飯を一緒に食べる場、繋がる場をつくっている。		
3	みなみくらぶ	R1	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	南町内会エリアの高齢者に集いの場の必要性を知ってもらい、遠くに通わずともできることを続けてもらう。	1:高齢者	5	毎月第1・3水曜日 筋力トレーニング、脳トレ、音楽に合わせたエクササイズなど		
4	音楽でコグニサイズ	R1	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	これまでケアプラザの講座に参加したことがない方や、体を動かすことが苦手な方にも、音楽療法を使って仲間づくりの楽しさや健康づくりの大切さを知ってもらいたい。	1:高齢者	5	毎月第4木曜日 13:00～14:30 ・音楽ウォームアップ ・口腔機能強化 ・音楽コグニサイズ ・音楽脳トレ		
5	みどりの輪 きたにっば	H30	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	3年ぶりの集えるイベント開催を皮切りに、できる活動を始めていく。 老人会の活動が低迷しているため、活性化につながる取り組みを考えたい。	1:高齢者	5	4/1お花見		
6	キャラバンメイトのつどい	H28	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地区内のキャラバンメイトが減少している。増員する手段を考える。	1:高齢者	5	キャラバンメイトの受講者を増やす方法やサポーター講座の実施、認知症カフェのサポート方法などを検討する。12月。		
7	パパ講座	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	父親同士の居場所や繋がりを生み出す場。 子どもとの接し方、遊び方や、良好な夫婦関係へのヒントを共有する。	3:養育者及び乳幼児	5	パパにとっても魅力あるプログラムを組みつつ、仲間作りになるような時間にする。 9～1月毎月開催。		
8	鉄トーク	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいの有無に関わらず、共通の話題を通じて、地域の同士が交流できる場を作る。また、相談員が地域の方と繋がる機会にもなることで、支援を必要とされる方の情報取得の可能性を広げる。	2:障害児・者	5	障がいの有無に関わらず、鉄道好きがあつまり、鉄道にまつわる話をしながら、交流を深める。8月20日実施。		
9	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H30	3生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者のボランティア活動を推進することで、介護予防・社会参加を促進する。	1:高齢者	5	シニアボラのカリキュラムに沿って開催。 11月。		
10	オレンジカフェ	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	集いの場を使っでの認知症啓発と当事者支援。当事者と身近に接することによって、誰もが認知症を身近なことと考える地域を目指す。	1:高齢者		毎月第3火曜日 13:30～14:30 ボランティアを中心に、区役所や地域の介護職にも声をかけて開催する。 年に数回、イベント予定。		
11	オレンジの輪プロジェクト(講演会)	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	9月21日の世界アルツハイマー啓発デーに合わせて、認知症理解と誰もが安心して暮らせる町作りのためのプログラムを実施する。	5:地域	1	認知症に関する映画の上映会や講演会、及び当事者の話等。 9月実施予定		
12	オレンジの輪プロジェクト(子ども版 認知症サポーター養成講座)	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	9月21日の世界アルツハイマー啓発デーに合わせて、認知症理解と誰もが安心して暮らせる町作りのためのプログラムを実施する。	4:子ども・青少年	5	子ども版の認知症サポーター養成講座を実施。7月～8月実施予定		
13	オレンジの輪プロジェクト(認知症サポーター養成講座)	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	9月21日の世界アルツハイマー啓発デーに合わせて、認知症理解と誰もが安心して暮らせる町作りのためのプログラムを実施する。	5:地域	1	地域向け認知症サポーター養成講座 9月実施予定		
14	心のバリアフリープロジェクト	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいの方に関わる写真展、講演会、音楽会等を、4ケアプラザ(新吉田・樽町・下田・新羽)で合同企画し、障がいの理解を深める。	5:地域		3月実施予定		
15	大竹うたの会	R2	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	つどえる場や歌が歌える場が減って気持ち落ちている方に、楽しめる時間を提供し元気になってもらい、集いの場の必要性を知ってもらう。	1:高齢者	5	5月11日、10月12日 回想音楽セラピーを屋外で開催 善教寺の協力を得て境内に椅子を置いて実施		
16	女性の生きがい講座(ここ★カラ セミナー)	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	体力の低下や更年期という体の変化が起きる40～50代の女性を対象に、健康的に過ごす方法をしてもらうと共に、活動的な人を増やすことで地域力の底上げ・活性化に繋げる。	5:地域		趣味的な楽しい講座の場を使って、更年期や親の介護等、40～50年代ならではの悩みを共有する。 5/20「カラー診断と色のお話し」 6/17「ほぐし&初級ピラティス」 7/15「カラダが喜ぶ雑穀料理」 8/5「セカンドライフをデザインしよう」		

